

平成22年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	一般廃棄物処理事業				開始年度		
基本目標	廃棄物処理体制の整備				終了年度		
担当課(局)	町民生活課	担当係	環境保全係	記入者	上杉真理	評価者	三浦敏
21年度決算	266,449	千円	22年度予算	250,378	千円	事業の実施方法	<input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
21年度人件費	73 千円		22年度人件費	72 千円		事業従事者数	0.01 人 0.01 人

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	一般廃棄物を適正に処理することで循環型社会の形成を目指し、経費の抑制を図る。
事業の内容	高鍋町から分別・収集した廃棄物を、一部事務組合(処理の広域化)で処理することで、処理経費の抑制を図り、循環型社会の形成を効率よく推進していく。

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	# 処理量	可燃ごみ、容器包装プラスチック等の圧縮梱包排出及び金属等やプラスチック製容器包装類の再資源化
	2 売却資源量	有価物として資源物を売却し、処理経費の抑制が得られた。
活動指標	3 負担金の削減	可燃ごみの減量を訴え、処理に係る負担金の削減につなげた。
	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	# 搬入ごみ量	高鍋町内で排出され、ゴミ処理施設等に搬入されたごみ量(総量)
	2 広報	処理負担を軽減するため、住民に対し年3回程度広報を発行し、ごみの減量化資源化を促す
	3 ごみ処理手数料(指定袋)	指定袋を購入し住民に販売、町の収入とすることで、処理等に係る経費を負担してもら

◎達成状況

指標名		単位	20年度	21年度	22年度	
成果指標	処理量	目標値	ト		6,290	
		実績値	ト	6,139	6,233	
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	
	売却資源量	目標値	ト			755
		実績値	ト	768	732	
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	
負担金の削減	目標値	千円	187,536	266,449	250,378	
	実績値	千円	239,221	266,449		
	達成率	%	127.6%	100.0%		
活動指標	搬入ごみ量	目標値	ト	6,698	6,547	6,700
		実績値	ト	6,681	6,699	
		達成率	%	99.7%	102.3%	
	広報	目標値	回	4	3	3
		実績値	回	4	4	
		達成率	%	100.0%	133.3%	
	ごみ処理手数料(指定袋)	目標値	千円	44,640	40,335	40,110
		実績値	千円	37,917	35,933	
		達成率	%	84.9%	89.1%	

◎事務事業の評価

妥当性(必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	廃棄物の処理及び清掃に関する法律により、一般廃棄物の処理事業が市町村に義務付けられている。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	分別収集することにより、資源物の再資源化が進んでいる。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	広報により家庭系一般廃棄物のごみ量は減量している。
協働性	◎町民との協働の可能性があるか(ボランティア・NPO等)	ごみの分別徹底については、町民の協力が必要。 マイバッグ・マイ箸・マイボトルの使用についても、ごみの減量化につながる。

事務事業名	一般廃棄物処理事業	担当課(局)	町民生活課
-------	-----------	--------	-------

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	<p>◎担当者の方針に対する評価者としての所見</p> <p>◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等</p>	<p>郡内各市町村のごみ量は、平成19年度から21年度にかけてほぼ増加傾向にあるのに比べ、本町は、前年度に対し20年度が減少、21年度は微増程度に抑えられた。これは、広報等により周知が行き届き、各家庭、事業所の分別収集等の協力が得られてきたことや、もちろん住民自体の意識が高まってきたことの表れだろうと思う。</p> <p>ただし、22年度については、口蹄疫によりごみ量も増えると思われるが、長期的なごみ減量化対策については、やはりそれぞれが分別を徹底していただき、各家庭がごみを出さない工夫するとともに、町もさらに協力をお願いし、理解いただくことが必要と考える。</p>	今後の方向性					
			事業の方向性	拡充		○		
				現状維持				
				縮小				
				廃止				
		廃止	縮小	現状維持	拡充			
コスト								

事務事業評価委員会 評価欄	事業	拡充	<p>◎廃棄物処理計画に基づき、ゴミ減量化のための方策を検討し、適切な処理をしなければならない。</p> <p>◎可燃ごみ量の削減に向けた取り組みが必要である。生ごみの減量(軽量化)を進めていかなければ削減は難しい。(生ごみの水切り徹底、電動生ごみ処理機の普及、生ごみ堆肥化など)</p>
	コスト	縮小	